

## 第 17 回子ども・子育て会議次第

平成 30 年 12 月 18 日（火）

午後 3 時～午後 5 時

多可町役場 特別会議室

### 1. 開 会

### 2. 会長あいさつ

### 3. 報告事項

- 1) 病後児保育事業の廃止について
- 2) 子ども・子育て支援にかかるニーズ調査の実施および調査票について
- 3) 平成 31 年度保育施設等入所説明会の開催等について
- 4) 多可町保育施設入所選考基準要綱の制定について
- 5) 公私連携によるキッズランドの運営（民営化）について

### 4. 協議事項

- 1) 子育てふれあいセンターの移転について

### 5. その他

- 1) 次回の会議開催予定 第 18 回子ども・子育て会議

日 時 平成 31 年 2 月 21 日（木）午後 3 時～午後 5 時

場 所 多可町役場 特別会議室

### 6. 閉 会



# 病後児保育のご案内

## ■ 病後児保育とは

病後児保育とは、保育施設などに通っているお子さんが病気の回復期のため集団生活が困難な期間に、一時的にそのお子さんをお預かりするものです。

## ■ 対象となるお子さん

町内の保育施設・幼稚園に通っているお子さんで、病気の回復期であり入院の必要はないけれど、安静の必要があるために保育施設などに預けることができず、保護者の方が、仕事・病気・傷病・出産・冠婚葬祭などのため家庭で保育ができない場合で、かかりつけ医から病後児保育の実施が可能であると判断されたときに利用できます。

## ■ 利用定員

2名

## ■ 利用日

月曜から金曜日（祝日・年末年始を除く）

## ■ 利用時間

午前8時から午後5時まで ※これ以外の時間は、ご相談の上対応いたします。

## ■ 利用期間

1回につき5日まで

## ■ 利用料金（利用毎にみどりこども園へお支払ください）

1日あたり500円（町外児は1日あたり1,000円）



## ■ 利用方法

### 1. 多可町教育委員会 こども未来課へ事前登録します

利用するためには、事前登録が必要です。「病後児保育利用登録申請書」に必要事項を記入していただき、ご提出ください。

### 2. みどりこども園に電話予約をします

利用希望日の前日（空いていれば当日でも可）までに連絡し、お子さまのお名前、年齢、症状、利用したい日などを伝えてください。（受付時間：午前7時30分から午後6時）

### 3. 医療機関を受診します

受付時に病後児保育を利用することを伝え、診察を受けてください。かかりつけ医（西脇市多可郡医師会）に「病後児保育実施連絡確認書」の記入をお願いしてください。

確認書の記入については、多可町と西脇市多可郡医師会で契約を結んでおります。

### 4. 利用当日

「病後児保育事業利用申請書」「与薬依頼書」に必要事項を記入し、「病後児保育実施連絡確認書」をつけて病後児保育室にご提出ください。

問診票をお渡ししますので、お子さまの健康状態を記入してください。お子さまの症状を確認後、お預かりします。

## ■ 利用当日お持ちいただくもの

▽必要書類（当日、みどりこども園に提出してください）

1. 病後児保育実施連絡確認書
2. 病後児保育事業利用申請書
3. 与薬依頼書



▽持ち物

1. 健康保険証（コピー）・乳幼児医療費受給者証（コピー）
2. お薬・・・かかりつけ医で処方していただいたお薬がありましたらお持ちください。  
（薬剤情報提供書もお持ちください）

**お薬には名前を書いていただき、1 回分のみお持ちください。**

3. バスタオルまたは  
タオルケット・・・お昼寝の時に使用します。毎日持ち帰り、洗濯をお願いします。
4. ハンドタオル
5. 着替え一式（1～2組）
6. 汚れ物入れの袋・・・ビニール袋やスーパーの袋など 2～3 枚
7. コップ
8. スプーン・フォーク・おはし等



▽必要に応じて持参していただくもの

1. 紙おむつ（1 日分）・・・・・・下痢の時は多めにお持ちください。
2. ミルク・哺乳瓶
3. ストロー付きマグ
4. お茶、イオン飲料類・・・・・・病気の時は水分補給が大切ですので、お子様が飲みやすい飲み物をお持ちください。



## ■ その他

▽給食・おやつは、みどりこども園でご用意いたします。

※アレルギーのあるお子さまは、除去の必要など必ずみどりこども園に申し出てください。

▽午睡布団や給食用エプロンはみどりこども園でご用意いたします。

## ■ お願い

▽医師が、病後児保育が可能ではないと判断された場合や保護者の都合により利用を中止される場合は、利用取り消しの連絡を入れください。

▽病状により、利用をお断りする場合があります。

▽利用中お子さまの容体が変化した場合、医療機関で治療することがあります。

その場合、診療内容によって一部自己負担になる場合があります。

### 《連絡先》

多可郡多可町中区牧野52  
みどりこども園  
TEL 0795-32-3927

# 病児保育のご案内

多可町では平成22年度から「みどり保育所（現みどりこども園）」で病後児保育を実施しています。病気中のお子さんを預かる病児保育は初めての取り組みになりますが、平成28年度から中区天田の「おひさまにこにこクリニック」で病児保育を実施することになりました。病後児保育に加えて病児保育も実施していますので、皆様ご利用ください。

## ■ 病児保育とは

病児保育とは、保育施設などに通っているお子さんが病気のため集団生活が困難な場合に、一時的にそのお子さんをお預かりするものです。

## ■ 対象となるお子さん（対象年齢：6ヵ月～おおむね10歳未満）

多可内に住所を有するお子さん、在園児、もしくは町内の事業所に勤務する保護者のお子さん等で、病気で入院の必要はないけれど、安静の必要があるために保育施設などに預けることができず、保護者の方が、仕事・病気・傷病・出産・冠婚葬祭などのため家庭で保育ができない場合で、かかりつけ医から病児保育の実施が可能であると判断されたときに利用できます。

## ■ 利用定員（1日あたり）

2名

## ■ 利用日および利用時間（おひさまにこにこクリニックの休診日を除く）

月・水・木・金曜日：8:30～18:30

火曜日、第3水曜日、土曜日：8:30～12:30



## ■ 利用期間

1回につき連続7日まで

## ■ 利用料金（利用毎に、おひさまにこにこクリニックへお支払ください）

利用時間	利用料（町内）	利用料（町外）
2時間未満	500円	750円
2時間以上4時間未満	1,000円	1,500円
4時間以上6時間未満	1,500円	2,250円
6時間以上	2,000円	3,000円

## ■ 利用方法

### 1. 多可町教育委員会 こども未来課へ事前登録します（登録申請書用紙は、各園にもあります）

利用するためには、事前登録が必要です。「病児保育利用登録申請書」に必要事項を記入のうえ、こども未来課へご提出ください。※病後児保育の登録とは別に、病児保育の登録が必要です。

### 2. 医療機関で受診します

受付時に病児保育を利用することを伝え、診察を受けてください。かかりつけ医（西脇市多可郡医師会）に「病児保育情報提供書」の記入（無料）をお願いしてください。

病児保育情報提供書の記入については、多可町と西脇市多可郡医師会で契約を結んでいます。

### 3. おひさまにこにこクリニックに電話予約をします

利用希望日の前日（空いていれば当日でも可）までに連絡し、お子さまのお名前、年齢、症状、利

用したい日などを伝えてください。(受付時間：8:45～18:30)

#### 4. 利用当日

「病児保育利用申請書」に必要事項を記入し、「病児保育情報提供書」を付けておひさまにこにこクリニックへご提出ください。※おひさまにこにこクリニックで受診の場合、情報提供書は不要。問診票をお渡ししますので、お子さまの健康状態を記入してください。

診察後、お預かりします。

#### ■ 利用当日お持ちいただくもの

▽必要書類(当日、おひさまにこにこクリニックに提出してください)

1. 病児保育利用申請書
2. 病児保育情報提供書



▽持ち物

1. 健康保険証(コピー)・乳幼児医療費受給者証(コピー)、おくすり手帳
2. お薬・・・・・・・・・・かかりつけ医で処方していただいたお薬がありましたらお持ちください。(薬剤情報提供書もお持ちください)

お薬には名前を書いていただき、1日分のみお持ちください。

3. バスタオルまたはタオルケット
4. ハンドタオル、着替え一式(1～2組)
5. 汚れ物入れの袋・・・・・・・・・・ビニール袋やスーパーの袋など2～3枚
6. お弁当(お昼ごはん)、おやつ、お茶、イオン飲料など
7. コップ、スプーン、フォーク、おはし等



※持ち物には、すべて名前の記入をお願いします。



▽必要に応じて持参していただくもの

1. 紙おむつ(1日分)・・・・・・・・・・下痢の時は多めにお持ちください。
2. ミルク・哺乳瓶
3. ストロー付きマグ
4. 食事用エプロン



#### ■ お願い

▽医師が病児保育は可能ではないと判断された場合や保護者の都合により利用を中止される場合は、利用取り消しの連絡を入れてください。

▽病状により、利用をお断りする場合があります。

▽利用中、お子さまの容体が変化した場合、クリニックで治療することがあります。

その場合、診療内容によって一部自己負担になる場合があります。

##### 《事前登録申請先》

多可郡多可町中区岸上 224-17  
多可町教育委員会こども未来課  
(旧中町幼稚園内)  
TEL 0795-32-2385

##### 《病児保育実施施設》

多可郡多可町中区天田 43-1  
おひさまにこにこクリニック  
TEL 0795-30-0130

## 病児・病後児保育事業 年度別利用状況

単位：人

H30. 12. 3 現在

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
病後児保育	13	17	7	11	7	7	4	4	6
病児保育							34	47	55
合計	13	17	7	11	7	7	38	51	61

病後児保育 みどりこども園で、H22年度から実施。

病児保育 おひさまにこにこクリニックで、H28年度から実施。

### 平成30年度 病後児保育 園別利用者数 (H30. 4. ～H30. 11)

H30. 12. 3 現在

園 名	みどり	あさか	四恩	らくえん	かみ	やちよ	町内小学校	その他	利用者計
利用者数	2	0	2	0	0	2	0	0	6

### 病後児保育 園別登録者数

H30. 12. 3 現在

園 名	みどり	あさか	四恩	らくえん	かみ	やちよ	町内小学校	その他	登録計
登録者数	45	72	11	1	29	11		9	178

### 平成30年度 病児保育 園別利用者数

H30. 12. 3 現在

園 名	みどり	あさか	四恩	らくえん	かみ	やちよ	町内小学校	その他	利用者計
利用者数	7	3	8	0	19	6	0	12	55

### 病児保育 園別登録者数 (H30. 4. ～H30. 11)

H30. 12. 3 現在

園 名	みどり	あさか	四恩	らくえん	かみ	やちよ	町内小学校	その他	登録計
登録者数	19	17	9	1	18	12	1	22	99





## 多可町子ども・子育て支援にかかるニーズ調査概要

### 1. 調査の概要

「多可町子ども・子育て支援事業計画」は、平成27年度から平成31年度を第1期として策定しています。平成32年度からの次期計画策定にかかる資料とするため、家庭における子育てに対する生活実態や教育・保育・子育て支援に関する利用状況などのアンケート調査を実施しました。  
調査概要は以下のとおりです。

### 2. 調査対象者

①就学前児童調査（0～5歳児童の保護者）： 630件

②小学生調査（1～3年生児童の保護者）： 460件

### 3. 調査方法

#### ①就学前児童

630件のうち、441件については町内の認定こども園、保育所、キッズランドを通じて配布回収を行い、189件については郵送による配布・回収を行いました。

#### ②小学生児童

町内の小学校を通じて配布回収を行いました。

### 4. 調査期間

平成30年10月中旬～10月26日（金）

### 5. 回収状況

調査の種類	配布数	回収数	回収率
就学前児童調査	630	461	73.2%
小学生調査	460	443	96.3%
合 計	1,090	904	82.9%

### 6. 前回調査（平成25年9月～10月実施）

調査の種類	配布数	回収数	回収率
就学前児童調査	692	497	71.8%
小学生調査	907	829	91.4%
合 計	1,599	1,326	82.9%



多可町 子ども・子育て支援に関する二一ズ調査  
独自設問【就学前児童用】

## 2. お子さんの子育て支援サービスの利用について

問7 お子さんは現在、八千代区にある「多可町子育てふれあいセンター」（子育て中の親子同士が気軽につどい、交流や一緒に遊んだりして過ごせる場所です。）を利用していますか。また、おおその利用回数（頻度）も数字で記入してください。 【あてはまる番号すべてに○／数字記入（一枠に一字）】

1. 多可町子育てふれあいセンター  
⇒ 1 週あたり  回   もしくは   1 ヶ月あたり  回程度   ⇒ 問7-1 へ
2. その他多可町で実施している類似の事業・施設（具体名：）  
（例：中児童館、みなみ児童館、子育て広場・サロン（みどりこども園、あさかこども園、四恩こども園）など）   ⇒ 問7-3 へ
- ⇒ 1 週あたり  回   もしくは   1 ヶ月あたり  回程度
3. 利用していない   ⇒ 問7-2 へ

＜問 7 で「1. 多可町子育てふれあいセンター」に○をつけた方にうかがいます。＞

問7-1 実際に「多可町子育てふれあいセンター」を利用して、よかったことはありますか。「①保護者の方」と「②お子さん」のどちらにもお答えください。 【それぞれあてはまる番号すべてに○】

①保護者の方	②お子さん
1. 知り合いや友人ができた	1. 遊び相手ができた
2. 子育てに関する相談ができた	2. 遊びの幅が広がった、興味が広がった
3. 地域の子育て情報が入手できた	3. 体を動かすようになった
4. 考え方や見方の視野が広まった	4. 道具などの使い方が上手になった
5. 外出の機会が増えた	5. 食欲や食量が増えた
6. 不安や孤独感等を感じる事が減った	6. 社会のルールを学ぶ機会を得た
7. 規則正しい生活ができるようになった	7. 生活リズムができた
8. 子育てを楽しむ余裕ができた	8. よく寝るようになった
9. その他（ ）	9. その他（ ）
10. わからない	10. わからない
11. 特にない	11. 特にない

<問7で「3. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。>

問7-2 「多可町子育てふれあいセンター」を利用していない理由を教えてください。

【あてはまる番号すべてに○】

- |  |   |
|--|---|
| 1. センターに行かなくても、近隣で子育て中の人と交流したり、子ども同士が遊んだりできている |   |
| 2. 他市の施設を利用している                                |   |
| 3. 幼稚園や保育施設等に通っており、時間がない                       |   |
| 4. 自宅から遠い                                      |   |
| 5. 駐車場が狭い                                      |   |
| 6. アスパル健康福祉センターと離れていて、あちこちに行かなければいけない          |   |
| 7. 近くに公共機関がない                                  |   |
| 8. 土曜・日曜・祝日が開いていない                             |   |
| 9. 開館時間が短い（遅くまでやっていない）                         |   |
| 10. 館内の遊び場が狭い、館内に玩具や本が充実していない                  |   |
| 11. 公園のような広い遊び場がない                             |   |
| 12. プログラムが充実していない                              |   |
| ⇒どんなプログラムがあればよいと思いますか                          |   |
| （具体的に：   | ） |
| 13. 専門的な相談を受けることができない                          |   |
| 14. 子育てに関する情報が充実していない                          |   |
| 15. 家庭への訪問型の相談や支援がない（小さい子供を連れて通うのは大変だから）       |   |
| 16. 他の利用者とうまく交流できない、交流できるか不安                   |   |
| 17. 子どもの一時預かりサービスがない                           |   |
| 18. スタッフの対応がよくない                               |   |
| 19. 利用方法や自分が施設の利用対象になるのかが分からない                 |   |
| 20. 子育てふれあいセンターについて知らなかった                      |   |
| 21. その他（                                       | ） |

★すべての方にうかがいます。

問7-3 「多可町子育てふれあいセンター」が、どこにあると利用しやすいと思いますか。 【○は1つ】

- |       |        |         |
|-------|--------|---------|
| 1. 中区 | 2. 加美区 | 3. 八千代区 |
|-------|--------|---------|

問8 「多可町子育てふれあいセンター」について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。1つに○をして、希望する場合は、おおよその利用回数（頻度）を記入してください。 【○は1つ／数字記入（一枠に一字）】

1. 今の利用でちょうど良い
2. 利用していないが、今後利用したい  
⇒ 1 週あたり  回   もしくは   1 ヶ月あたり  回程度
3. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい  
⇒ 1 週あたり さらに  回   もしくは   1 ヶ月あたり さらに  回程度
4. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問9 「多可町子育てふれあいセンター」について、期待している（期待したい）ことは何ですか。

【あてはまる番号すべてに○】

1. いつでも気軽に立ち寄れる  
2. 子育てに関する相談に応じてくれる  
3. 保護者同士が知り合いになれる  
4. 地域の子育て情報を入手できる  
5. 愚痴や不安を言える相手がいる  
6. 気分転換やリフレッシュができる  
7. 子ども同士の交流ができる（友だちができる）  
8. 子どもに社会のルールやマナーを身につけさせたい  
9. 子どもの生活リズムを作りたい  
10. 家ではできない遊びや新しい遊びを体験できる  
11. 体を動かすことができる  
12. 知的な能力を育てることができる  
13. 家庭訪問型の相談や支援をしてほしい  
14. 子どもの一時預かりサービスをしてほしい  
15. その他（ ）

問10 妊娠期から子育て期にわたるまで、「専門的な知見」と「当事者目線」の両方の視点を活かし、必要な情報を共有して、切れ目なく支援することを目的として、平成30年11月から中区のアスパル健康福祉センター内に「子育て世代包括支援センター」を開設します。「子育て世代包括支援センター」を利用したいと思いますか。 【〇は1つ】

1. 利用したい      2. 利用したいと思わない      3. わからない

問 11 「子育て世代包括支援センター」について、期待している（期待したい）ことは何ですか。

【あてはまる番号すべてに○】

1. 妊娠や出産、生まれた子どもの健康などについて相談に応じてくれる
2. 子どもを連れて気軽に相談できる
3. 地域の子育て情報を入手できる
4. 育児不安やしつけなどの相談に応じてくれる
5. 子どもの病気や発育発達などの相談（身体計測・栄養相談）に応じてくれる
6. 自分の相談内容にあったサービスを紹介してほしい
7. その他（

問 12 下記の事業で知っているものや、これまで利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑨の事業ごとに、A、B、Cのそれぞれについて、「はい」、「いいえ」のいずれか1つに○をつけてください。

※下記②の一部及び④⑤⑥の事業は利用料が必要です。

		A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後は利用したい
仲間 ひとりの場 子どもと一緒に遊べる場	① 子育てふれあいセンター (親子同士が気軽につどい、交流や一緒に遊んだりして過ごせる場所です。子育て中の親子が自由に来所して利用できます。開館は週5日(月～金)。)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
	② 児童館(中児童館・みなみ児童館) (子どもに健全な遊び場を提供する目的の施設で、さまざまな遊びや行事を体験することができます。0歳から18歳までのだれでも自由に来館して利用できます。開館は週5日(火～土)。)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
	③ 子育て広場・子育てサロン (みどりこども園、あさかこども園、四恩こども園で、未就園の子どもと保護者が楽しく過ごせるように、園庭を開放したり、交流保育や育児相談などを行っています。)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
子育て支援サービス	④ 保育所等での一時預かり (家庭での保育が一時的に困難な時に、保育所や認定こども園で預かります。)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
	⑤ 子育て短期支援事業(ショートステイ) (保護者の病気・出産・冠婚葬祭などにより、家庭で養育できないとき、児童養護施設等で一定期間、子どもを預かります。)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
	⑥ 病児保育事業 (保育所等に通う子どもが病氣中に、小児科「おひさまにここクリニック」で預かります。1日定員2名。)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
子育てに関する相談の場	⑦ のびのび子育て相談 (健康課内で、乳幼児を対象に身体計測、保健師・栄養士による相談を行っています。事前申込が必要です。)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
	⑧ すこやか相談 (健康課内で、就学までの乳幼児を対象に、運動発達相談、ことばの相談、心理相談、医師相談を行っています。事前申込が必要です。)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
	⑨ 家庭児童相談 (こども未来課内で、家庭相談員による18歳までの子どもの子育て相談に応じています。)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

★現在、「定期的に」幼稚園や保育施設等を利用していない方へうかがいます。

問 23 国では、幼児教育・保育の無償化を平成 31 年 10 月から実施することが検討されています。無償化によって自己負担が軽減されれば、お子さんを預けたいと思いますか。 【○は 1 つ】

※無償化は、一定の条件があります。下の表をご覧ください。

<div>1. 預けたい</div>	2. 預ける必要はない ⇒ 問 24 へ
--------------------	----------------------

<問 23 で「1. 預けたい」に○をつけた方にうかがいます。>

問 23-1 預けるとしたら、どこへ預けたいですか。 【○は 1 つ】

1. 幼稚園等（認定こども園の幼稚園枠を含む）
2. 保育施設等（認定こども園の保育園枠を含む）

表 無償化の条件

	0～2 歳児	3～5 歳児
認可保育所	住民税非課税世帯は無償化	全世帯が無償化
幼稚園		
認定こども園		
認可外保育サービス	上限 42,000 円で補助	上限 37,000 円で補助





# 多可町 子ども・子育て支援に関するニーズ調査 独自設問【小学生用】

## 4. お子さんの放課後の過ごし方について

問 14 放課後（平日の小学校終了後）の時間を過ごす場所として、①放課後子ども広場と②放課後児童クラブ（学童保育）を実施しています。これらの子育て支援サービスを知っていましたか。

【それぞれ○は1つ】

- ①放課後子ども広場では、地域の皆さんに参画していただき、放課後に小学校等で遊び場やスポーツ活動等を提供しています（おおむね週 1～2 回）。保護者の就労の有無にかかわらず、すべての小学生が参加できます。ここでは、平日の放課後に小学校の施設で友達と遊んだり、地域の大人から遊びを教わったりしながら一緒に過ごしますが、子どもを預かる場ではありません。（問い合わせはこども未来課まで）
- ②放課後児童クラブ（学童保育）では、親が共働きなどで昼間家庭にいない小学生を対象に、授業の終了後に安全な遊び場や生活の場を提供しています。（問い合わせはこども未来課まで）

①放課後子ども広場	②放課後児童クラブ（学童保育）
1. 活動内容を知っている	1. 活動内容を知っているし、利用している （利用したことがある）
2. 活動内容は知らないが、名前は聞いたことがある	2. 活動内容は知っているが、利用したことはない
3. 活動内容も名前も聞いたことがない	3. 活動内容は知らないが、名前は聞いたことがある
	4. 活動内容も名前も聞いたことがない

問 14-1 お子さんにとって、「放課後子ども広場」にどのようなことを期待（希望）しますか。

【あてはまる番号すべてに○】

1. 毎回、16 時まで利用し、高学年と一斉下校できればよい
2. 1、2、3 年生は短時間利用で 15 時頃に集団下校する方がよい
3. 他のクラスや違う学年の友達と遊ぶことができる
4. 大勢で過ごせる環境があること
5. 校庭や体育館で体を動かして遊べる
6. 新しい遊びを覚えるなど、いろいろな体験ができる
7. 遊び道具を充実してほしい
8. 子どもが地域の大人の人と話や交流ができる
9. スタッフさんの配置人数を増やしてほしい



## 平成 31 年度 認定こども園・保育所等 入所説明会の開催等について

## 1 平成 31 年度認定こども園・保育所等の新規入所説明会

- 日 時 平成 30 年 10 月 13 日（土）午後 1 時 30 分～3 時
- 場 所 旧中町幼稚園 遊戯室
- 参 加 みどりこども園、あさかこども園、四恩こども園、キッズランドかみ、  
キッズランドやちよ、ちびっこランドらくえん、森のようちえん（こころね）
- 来場人数 約 75 人
- 内 容 ①こども未来課から認定こども園・保育所等の入所申込方法の説明  
②各園長による各園の PR、それぞれの特色の紹介

## 2 平成 31 年度 入所申込から利用決定までの流れ

- 申込受付期間 : 平成 30 年 10 月 15 日（月）～10 月 31 日（水）
- 保育の必要性の認定及び入所調整 : 11 月 1 日～1 月上旬
- 入所決定（内定） : 1 月上旬～中旬 保護者あてに通知
- 各園での入園説明会 : 2 月中旬～3 月上旬 各園にて
- 利用者負担額決定 : 3 月下旬 保護者あてに通知

## 3 申込状況

	H27 年度			H28 年度			H29 年度			H30 年度			H31 年度		
	人口 （4 月 1 日）	町内就園児数	町内在宅児数	人口 （4 月 1 日）	町内就園児数	町内在宅児数	人口 （4 月 1 日）	町内就園児数	町内在宅児数	人口 （4 月 1 日）	町内就園児数	町内在宅児数	人口 （12 月 1 日）	町内就園児数	町内在宅児数
0 歳	112	22	90	111	17	94	111	28	83	84	30	54	89	32	57
1 歳	129	45	84	118	45	73	117	62	55	121	65	56	86	51	35
2 歳	141	84	57	126	62	64	128	79	49	115	82	33	125	86	39
3 歳	165	158	7	143	133	10	134	121	13	122	108	14	129	113	16
4 歳	137	125	12	161	154	7	144	141	3	136	130	6	123	116	7
5 歳	166	152	14	135	129	6	167	165	2	142	131	11	139	135	4
小計	850	586	264	794	540	254	801	596	205	720	546	174	691	533	158
申 込 率(%)		68.9			68.0			74.4			75.8			77.1	



## 多可町保育施設入所選考基準要綱

平成30年9月27日

告示第65号

(趣旨)

**第1条** この要綱は、児童福祉法（昭和22年12月12日法律第164号）第24条第3項及び附則第73条第1項に規定する保育所、認定こども園及び家庭的保育事業所等（以下「保育所等」という。）の利用に係る児童の選考基準を定めることにより、その公正な選考を確保することを目的とする。

(入所の選考)

**第2条** 町長は、保育所等ごとの利用を希望する児童の数が当該保育所等を利用可能な児童数を超える場合は、当該保育所等を利用する児童の選考を行うものとする。ただし、保育所等に入所中の児童（継続児童）に関しては、選考の対象としない（多可町内に住民登録のある世帯に限る。）。

- 2 前項の選考は、保護者の状況等に応じ、別表1及び別表2により算出した点数（以下「選考点数」という。）の高い児童から優先的に利用させるものとする。
- 3 前項の選考点数が同点の場合は、別表3で定める事項により優先順位を決定するものとする。

**附 則**

この要綱は、平成30年10月1日から施行する。

別表 1

## 入所選考基準点数表

番号	区分	細目	内容	点数
1	就労	被雇用者	月160時間以上就労している	13
			月120時間以上160時間未満就労している	11
			月80時間以上120時間未満就労している	9
			月48時間以上80時間未満就労している	7
		自営業等 (中心者)	被雇用者の内容と同じ	7～13
		自営業等 (協力者)	月160時間以上就労している	11
			月120時間以上160時間未満就労している	9
			月80時間以上120時間未満の労している	7
			月48時間以上80時間未満就労している	5
		内職	自宅で物品製造等に月120時間以上従事している	7
自宅で物品製造等に月48時間以上120時間未満従事している	5			
2	妊娠・出産		妊娠中・産前産後	10
3	疾病・ 障害	入院	1か月以上の入院が決定している	10
		通院	週4日以上に通院をしている	7
		自宅療養	自宅にて療養している	5
		心身障害	障害者手帳（身体1・2級、療育A、精神1級）の交付又は 要介護認定（3級以上）を受けている	8
			障害者手帳（身体3級以下、療育B、精神2級以下）の交付 又は要介護認定（2級以下）を受けている	6
4	家族の介 護・看護	入院	入院している家族に常時付き添っている	9
		通院	週4日以上に通院をしている家族に付き添っている	7
		自宅療養	家族が自宅にて療養している	4
		心身障害	障害者手帳（身体1・2級、療育A、精神1級）の交付又は 要介護認定（3級以上）を受けている家族の介護（看護）を している	8
			障害者手帳（身体3級以下、療育B、精神2級以下）の交付 又は要介護認定（2級以下）を受けている家族の介護（看 護）をしている	6
5	災害		火災、風水害、地震等で住居等が被災し、復旧にあたる場合	13
6	求職中 (起業準備含む)	就労先が内定している（番号1の内容と同じ）		5～13
		就労先が未定である		2
7	就学	職業訓練校等に就学している		9
		通信教育で就学している		5
8	虐待・DV		虐待又はDVにより、家庭で保育を行うことが困難である	13
9	育児休業 (転園の場合)		年長児である場合や保護者の健康状態など子どもの発達環境 上の変化が好ましくない場合	7

備考 1 基準点数は、保護者それぞれの点数を合算した点数とする。

2 複数の内容に該当する場合は、点数が高い方を適用する。

## 別表2

入所選考調整点数表

区分	内容	点数
加 点	生活保護法（昭和25年法律第144号）による被保護世帯	+ 4
	父又は母の死亡、離別、行方不明等でひとり親の世帯	+15
	兄弟姉妹で同じ保育所等へ利用を希望する場合	+ 3
	入所申請児童が障害を有している場合	+ 3
	小規模保育事業など地域型保育事業の卒園児	+ 3
	父又は母が保育士、保育教諭、幼稚園教諭として勤務又は勤務予定である場合	+ 3
	父又は母が放課後児童クラブ指導員として勤務又は勤務予定である場合	+ 2
	生計中心者の失業により、就労の必要性が高い場合	+ 2
	育児休業明け、産休明けの場合	+ 3
	児童相談所等の関係機関から通告等により、児童養護の観点から優先的な取扱いが必要な場合（里親委託である場合を含む）	+ 4
減 点	同居の親族が65歳以下で入所選考基準点数表6（内定の場合を除く）を除くいずれの内容にも該当しない場合	- 2
	町外在住者（入所予定月までの転入予定者及び保育所等を設置している法人の在勤者が同法人の設置する保育所等を希望する場合を除く）	- 8
	正当な理由なく保育料（給食費等の実費を含む）を3か月以上6ヶ月未満滞納している場合	- 5
	正当な理由なく保育料（給食費等の実費を含む）を6か月以上滞納している場合	-10

- 備考 1 調整点数は、世帯を単位として適用する。  
2 複数の内容に該当する場合は、全てを合算する。

## 別表3

選考点数が同点の場合の優先順位

優先順位	項目
1	多可町内に住民登録がある世帯（入所予定月までの転入予定者を含む）
2	希望園順位が高い世帯
3	選考時点で「保育所等利用待機児童数調査要領」に該当し、待機児童となっている者
4	選考時点で「保育所等利用待機児童数調査要領」に該当しないが、入所保留となっている者
5	前年度の第1希望の保育所等に転園を希望する世帯
6	児童数の多い世帯





平成30年11月20日

キッズランド保護者の皆様

教育委員会こども未来課  
キッズランドかみ・やちよ

## 公私連携によるキッズランドの運営（民営化）についての近況報告

保護者の皆様にはいつもキッズランドの運営、行事等にご支援・ご理解を賜り、ありがとうございます。いよいよ来年の4月から公私連携による運営（民営化）となりますが、すでに決定していること、保護者会役員会様と調整のなかで決まったことなどをお伝えします。

### 1. 運営母体

キッズランドかみ → H31.4.1 から社会福祉法人 鳳凰福祉（ほうおうふくし）会  
キッズランドやちよ → H31.4.1 から社会福祉法人 楽久園（らくえん）会

2. 園の名称 幼保連携型認定こども園 キッズランドかみ  
幼保連携型認定こども園 キッズランドやちよ

3. 園の歌 引き継ぎます。

4. 園の電話番号 引き継ぎます。

### 5. その他の調整事項

① 帽子、園児服、体操服上下 → 引き継ぎます。これまでどおり個人負担です。

かばん、上ぐつなど → これまでどおりです。個人負担です。

かばんについては園推奨品（リュック式）を今後お示しすることがありますが、現状のカバンをそのままお使いいただいても結構です。

② キッズ安心メール → 引き継ぎます。

警報発令時や災害発生時、園からの緊急連絡など、保護者様のスマホ、携帯電話にメールでお知らせする「キッズ安心メール」は、引き継ぎます。

または、スマホアプリによる連絡方法を検討します。

③ 行事・イベント → 引き継ぎます。

行事・イベントの見直し、追加、廃止をする場合は、必ず保護者会様に相談します。

④ 3～5歳児の白ごはん提供 → 今後、保護者会様と相談しながら検討します。

3～5歳児は保育料、給食費のなかに白飯代が含まれていないため、現在、おうちから白ごはんを持参していただいています。中区では夏場の衛生面などを考慮し、また冬場に炊き立ての温かいごはんを提供するため実費をいただいて白飯を提供しています。（@30×20日＝1カ月 600円）平成31年度からの即実施は無理ですが、今後、保護者様のご意見をお聴きしながら、調整・検討していきます。

- ⑤ 給食のアレルギー対応 → これまでどおりで、変更ありません。  
町立学校給食センターにならい、特定原材料7品目（卵、乳、小麦、えび、かに、そば、落花生）の完全除去を基本としつつ、これまでどおりの対応とします。
- ⑥ 通園バス → これまでどおりで、変更ありません。  
現状のように町が通園バスを運行します。利用料は町へ納付していただきます。利用料は据え置きを予定しています。片道 1,000 円/月、往復 2,000 円/月
- ⑦ 災害共済保険 → 現行 年額 幼稚園 295 円 保育園 375 円  
これまでどおり日本スポーツ振興センターの災害共済に加入します。認定こども園になり、掛金（年額）が一律 295 円になります。295 円のうち保護者様のご負担は 240 円です。あとの 55 円は運営法人が負担します。
- ⑧ 保護者会費 → 保護者会様と相談し、決定します。
- ⑨ スナップ写真、集合写真 → これまでどおり個人負担です。
- ⑩ 新学期用品 → 個人が持ち帰る物は、個人負担です。  
名前を書いて個人の所有となる物、持ち帰る物は、個人負担とします。
- ⑪ 保育料の引落口座・手数料 → 現行：町へ納付。手数料 町が負担。  
H31～：法人へ納付。手数料 保護者様ご負担。

現在、保育料は町へ納付していただいています。引落口座は JA、ゆうちょ、県信、中信などが可能で、手数料は町が負担しています。来年度からは、保育料を運営法人へ納付していただくことになります。従来のように引落口座を複数の金融機関に設定すると、法人の取扱件数が町と比較して少ないため、手数料が高くなります（1 カ月あたり 100 円。年額 1,200 円）。よって、引落口座を統一して手数料を抑えたいと考えます。申し訳ありませんが、引落口座を「ゆうちょ銀行」に統一させていただき、手数料（1 カ月あたり 10 円。年額 120 円）の保護者様ご負担をよろしくお願いいたします。保護者の皆様全員に「ゆうちょ銀行」で口座をつくっていただきたく何卒ご理解をよろしくお願いいたします。

## 子育てふれあいセンターの移転案について

### ◆子育てふれあいセンター 確認事項

- ・ 目的  
地域において子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点を設置することにより、地域子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進することを目的とする。
- ・ 名称      多可町子育てふれあいセンター
- ・ 場所      多可町八千代区仕出原 353 番地（キッズランドやちよ内）
- ・ 利用時間   午前 9 時～午後 3 時
- ・ 開館日      月～金曜日（土曜日にも月に 2 回程度自由開放）
- ・ 職員配置   子育て指導員（嘱託）1 人、両親教育アドバイザー（臨時）1 人  
                子育て指導補助員（臨時）4 人      計 6 人
- ・ 対象者      在住の就学前の乳幼児とその親およびその保護者
  
- ・ 事業          子育て相談、情報提供、自由開放  
                アウトリーチ支援（2 カ月教室、定期健診、赤ちゃん訪問）  
                育児支援（いきいき広場、親子あそび、にこにこ教室、  
                                年度別親子活動、赤ちゃん広場、平日親子交流会）  
                親支援（ボランティアサークル）  
                家族支援（土日家族交流会）  
                学習会（講師を招いての学習会、体験学習など）  
                次世代交流（小中高校へ「命の授業」「育児体験」協力）  
                世代間交流（婦人会、高齢者との交流など）  
                関連機関との連携（家庭相談員、保健師、栄養士、心理士、  
                                主任児童委員、社会福祉協議会職員など）  
                支援者研修（子育て担当者研修など）  
                施設運営（子育てふれあいセンターの運営）

※八千代の拠点は、施設内がワンフロアで、自由開放と事業を同時に実施しにくい。また、多可町の南端に位置し、加美区からの親子の参加がしにくい。そのため、赤ちゃん広場・ボランティアサークル以外のほとんどの事業を旧中町幼稚園はじめ、町内の施設や公園等で実施している。

### ◆これまでの経過

- ・ 公私連携によるキッズランドの運営（民営化）を進めるにあたり、地域や保護者、地権者、議会等に対しては、キッズランドやちよ敷地内の子育て棟は町立施設として残す説明をしてきた。
- ・ キッズランドやちよ敷地内の電気、水道料金は 1 本で計算されている。平成 31 年度から子育て棟の電気代、水道代をキッズランドやちよ（楽久園会運営）から分けるため、平成 30 年度予算に小メーター設置予算を計上。  
（小メーター設置 300 千円、照明修繕など計 602 千円を計上）

◆その後状況が変更になった点

- ・当初、健康課は新庁舎に入る予定であったが、アスパル事務所に残ることになり、合わせて「子育て世代包括支援センター」を平成30年11月1日にアスパル内に立ち上げるようになった。
- ・新庁舎完成後に空き施設となる旧中町幼稚園の有効活用を視野に入れ、アスパル、旧中町幼稚園周辺を「子育て支援ゾーン」と設定する。「子育てするなら多可町」の実現のため、子育てふれあいセンターの移転を検討する。

◆上記の件を受けて、検討したこと

- ・子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点である「子育てふれあいセンター」は、アスパル内の子育て世代包括支援センターと、より連携を図らなければならない。そのためには、現八千代施設で業務を行うよりも旧中町幼稚園に拠点を移すほうが、より有効な事業展開を図ることが可能と考えられる。子育てふれあいセンター職員としては、現拠点よりも旧中町幼稚園を拠点として活動をするほうが、事業展開しやすい。
- ・実際に子育てふれあいセンターを利用する保護者に意見をうかがったところ、拠点が八千代区にあるよりも中区にあるほうが利用しやすいという意見を多く得た。

(例) 子育てふれあいセンターで一日過ごす(弁当持参)

- アスパルで定期健診
- 児童公園であそぶ
- 中区で買い物

- ・「子育て支援ゾーン」では、子どもの健診から子育て相談、子育て中の親子の交流事業などが総合的に行うことが可能なエリアにしていく。子育て世代包括支援センターと子育てふれあいセンターの一体化を図っていく。

◆今後の進め方、方向性

- ・H31.4.1に、子育てふれあいセンターの拠点を八千代区から旧中町幼稚園に移す。現施設は、H31.3.31を持って閉鎖する。
- ・八千代施設は閉鎖するため、平成30年度に予算化している電気、水道の分離工事、照明の修繕は行わない。今年の夏に子育てふれあいセンターのエアコンが故障したが、エアコンの修繕も行わない。
- ・旧中町幼稚園施設を子育てふれあいセンターとしてオープンするために、遊戯室にエアコンの設置などを行うとともに、事務所開設、活動室整備などの予算を平成31年度当初予算に計上する。
- ・旧中町幼稚園の改修、整備にあたっては、子育てふれあいセンター職員、センター利用者、保護者等の意見を十分に聴く。
- ・H31.4.1 キッズランドやちよに「子育てひろば」開設予定。

### H30.5.8 子育てふれあいセンター 親子座談会

参加者：子育て親子 13組、子育てふれあいセンター 岡本子育て指導員、岸原教育長、こども未来課 今中

#### ◆子育てふれあいセンターの拠点（やちよ施設）を閉鎖し、旧中町幼稚園に拠点を移すことについてどう思うか。

- ・町の中心になるので、利用しやすくなる。
- ・八千代区からも、車での移動なので気にならない。
- ・買い物は中区でするので、中区に拠点があるほうがよい。やちよ施設を利用しても、必ず買い物は中区に寄ってしている。
- ・八千代区に住んでいるが、車に乗るとうちの子どもはすぐに寝てしまうので、八千代区にあるほうが私はありがたい。
- ・やちよ施設では、キッズランドの児童が外で遊んでいるときは、外が使用できない。旧中町幼稚園のほうが遊びやすいと思う。
- ・図書館が近くにあると、より利用しやすくなる。
- ・噴水のある中児童公園もよく利用するので、センターと近くなる。
- ・中区の拠点以外に、やちよ施設も開いていれば、利用したい。
- ・中区の拠点が充実していれば、やちよ施設は閉鎖でも支障はない。
- ・やちよ施設の魅力は、子どもが見渡しやすいところと、芝生広場があるところ。
- ・お弁当を気軽に食べることができる場所がいろいろあるとよい。
- ・旧中町幼稚園に芝生広場がほしい。遊戯室に柵を設置してほしい。
- ・遊戯室は電車広場に、保育室はままごと遊びの部屋と絵本の部屋にしてほしい。
- ・静かに絵本を読むことができる部屋があるとよい。
- ・ままごと遊びの部屋には、ぜひ床暖房がほしい。



平成30年度 子ども・子育て支援にかかるニーズ調査結果(就学前児童用)集計  
【子育てふれあいセンター利用について抜粋】

1. 子どもと家族の状況について

(問3、問1)お住まいの地区別アンケート数

地区別	(問1) 回答者	回答者 地区別の 割合	(問3)回答者の続柄内訳					
			①父親	割合	②母親	割合	③その他	割合
中区	208人	45.9%	15人	3.3%	192人	42.4%	1人	0.2%
加美区	138人	30.5%	9人	2.0%	129人	28.5%	0人	0.0%
八千代区	107人	23.6%	8人	1.8%	99人	21.9%	0人	0.0%
小計	453人		32人	7.1%	420人	92.7%	1人	0.2%
地区不明	8人							
計	461人							

2. 子どもの子育て支援サービスの利用について

(問3、問7)多可町子育てふれあいセンター(八千代区)利用状況(地区別)

地区別	(問7) 回答者	回答者 地区別の 割合	(問7)利用内訳					
			①多可町子 育てふれあい センター(八 千代区)利用	地区内 での割合	②その他 利用	地区内 での割合	③利用して いない	地区内 での割合
中区	200人	45.1%	29人	14.5%	17人	8.5%	154人	77.0%
加美区	137人	30.9%	15人	10.9%	5人	3.6%	117人	85.4%
八千代区	106人	23.9%	28人	26.4%	2人	1.9%	76人	71.7%
小計	443人		72人	16.3%	24人	5.4%	347人	78.3%
無回答	18人		1人				2人	
計	461人							

(問3、問7-3)多可町子育てふれあいセンターがどこにあると利用しやすいと思うか(地区別)

地区別	(問7-3) 回答者	回答者 地区別の 割合	(問7-3)設置場所内訳					
			①中区に 設置	地区内 での割合	②加美区 に 設置	地区内 での割合	③八千代 区に 設置	地区内 での割合
中区	201人	46.2%	192人	95.5%	1人	0.5%	8人	4.0%
加美区	130人	29.9%	52人	40.0%	75人	57.7%	3人	2.3%
八千代区	104人	23.9%	14人	13.5%	0人	0.0%	90人	86.5%
小計	435人		258人	59.3%	76人	17.5%	101人	23.2%
無回答	26人		1人				1人	
計	461人							

(問3、問8)多可町子育てふれあいセンターを今後利用したいと思うか(地区別)

地区別	(問8) 回答者	回答者 地区別の 割合	(問8)利用意向内訳							
			①今の利 用でよい	地区内 での割合	②今後利 用したい	地区内 での割合	③利用して いるが利用日 数を増やしたい	地区内 での割合	④思わない	地区内 での割合
中区	199人	46.2%	40人	20.1%	54人	27.1%	10人	5.0%	95人	47.7%
加美区	133人	30.9%	29人	21.8%	27人	20.3%	5人	3.8%	72人	54.1%
八千代区	99人	23.0%	30人	30.3%	21人	21.2%	11人	11.1%	37人	37.4%
小計	431人		99人	23.0%	102人	23.7%	26人	6.0%	204人	47.3%
無回答	30人				1人		1人		1人	
計	461人									

(問3、問7-1①)多可町子育てふれあいセンター利用してよかったこと【保護者の方】

(問7-1①)保護者の方 回答者		計	〇をつけた数
1. 知り合いや友人ができた	回答数	73人	57人
	割合		78.1%
2. 子育てに関する相談ができた	回答数	73人	51人
	割合		69.9%
3. 地域の子育て情報が入手できた	回答数	73人	41人
	割合		56.2%
4. 考え方や見方の視野が広まった	回答数	73人	20人
	割合		27.4%
5. 外出の機会が増えた	回答数	73人	42人
	割合		57.5%
6. 不安や孤独感等を感じる事が減った	回答数	73人	18人
	割合		24.7%
7. 規則正しい生活ができるようになった	回答数	73人	11人
	割合		15.1%
8. 子育てを楽しむ余裕ができた	回答数	73人	22人
	割合		30.1%
9. その他( )	回答数	73人	5人
	割合		6.8%
10. わからない	回答数	73人	1人
	割合		1.4%
11. 特にない	回答数	73人	1人
	割合		1.4%

(問3、問7-1②)多可町子育てふれあいセンター利用してよかったこと【お子さん】

(問7-1②)お子さん 回答者		計	〇をつけた数
1. 遊び相手ができた	回答数	73人	43人
	割合		58.9%
2. 遊びの幅が広がった、興味が広がった	回答数	73人	51人
	割合		69.9%
3. 体を動かすようになった	回答数	73人	29人
	割合		39.7%
4. 道具などの使い方が上手になった	回答数	73人	21人
	割合		28.8%
5. 食欲や食事量が増えた	回答数	73人	8人
	割合		11.0%
6. 社会のルールを学ぶ機会を得た	回答数	73人	23人
	割合		31.5%
7. 生活リズムができた	回答数	73人	11人
	割合		15.1%
8. よく寝るようになった	回答数	73人	8人
	割合		11.0%
9. その他( )	回答数	73人	4人
	割合		5.5%
10. わからない	回答数	73人	6人
	割合		8.2%
11. 特にない	回答数	73人	1人
	割合		1.4%



(問3、問7-2)多可町子育てふれあいセンターを利用していない理由

(問7-2) 回答者		計	〇をつけた数
1. センターに行かなくても、近隣で子育て中の人と交流したり、子ども同士が遊んだりできている	回答数 割合	373人	76人 20.4%
2. 他市の施設を利用している	回答数 割合	373人	24人 6.4%
3. 幼稚園や保育施設等に通っており、時間がない	回答数 割合	373人	273人 73.2%
4. 自宅から遠い	回答数 割合	373人	50人 13.4%
5. 駐車場が狭い	回答数 割合	373人	6人 1.6%
6. アスパル健康福祉センターと離れていて、あちこちに行かなければいけない	回答数 割合	373人	5人 1.3%
7. 近くに公共機関がない	回答数 割合	373人	0人 0.0%
8. 土曜・日曜・祝日が開いていない	回答数 割合	373人	57人 15.3%
9. 開館時間が短い(遅くまでやっていない)	回答数 割合	373人	17人 4.6%
10. 館内の遊び場が狭い、館内に玩具や本が充実していない	回答数 割合	373人	6人 1.6%
11. 公園のような広い遊び場がない	回答数 割合	373人	19人 5.1%
12. プログラムが充実していない ⇒どんなプログラムがあればよいと思いますか (具体的に: )	回答数 割合	373人	4人 1.1%
13. 専門的な相談を受けることができない	回答数 割合	373人	1人 0.3%
14. 子育てに関する情報が充実していない	回答数 割合	373人	3人 0.8%
15. 家庭への訪問型の相談や支援がない(小さい子供を連れて通うのは大変だから)	回答数 割合	373人	5人 1.3%
16. 他の利用者とうまく交流できない、交流できるか不安	回答数 割合	373人	24人 6.4%
17. 子どもの一時預かりサービスがない	回答数 割合	373人	8人 2.1%
18. スタッフの対応がよくない	回答数 割合	373人	0人 0.0%
19. 利用方法や自分が施設の利用対象になるのかが分からない	回答数 割合	373人	11人 2.9%
20. 子育てふれあいセンターについて知らなかった	回答数 割合	373人	20人 5.4%
21. その他( )	回答数 割合	373人	20人 5.4%

(問3、問9) 多可町子育てふれあいセンターに期待していること

(問9) 回答者		計	〇をつけた数
1. いつでも気軽に立ち寄れる	回答数	461人	258人
	割合		56.0%
2. 子育てに関する相談に応じてくれる	回答数	461人	153人
	割合		33.2%
3. 保護者同士が知り合いになれる	回答数	461人	149人
	割合		32.3%
4. 地域の子育て情報を入手できる	回答数	461人	114人
	割合		24.7%
5. 愚痴や不安を言える相手がいる	回答数	461人	68人
	割合		14.8%
6. 気分転換やリフレッシュができる	回答数	461人	175人
	割合		38.0%
7. 子ども同士の交流ができる(友だちができる)	回答数	461人	225人
	割合		48.8%
8. 子どもに社会のルールやマナーを身につけさせたい	回答数	461人	127人
	割合		27.5%
9. 子どもの生活リズムを作りたい	回答数	461人	33人
	割合		7.2%
10. 家ではできない遊びや新しい遊びを体験できる	回答数	461人	253人
	割合		54.9%
11. 体を動かすことができる	回答数	461人	160人
	割合		34.7%
12. 知的な能力を育てることができる	回答数	461人	73人
	割合		15.8%
13. 家庭訪問型の相談や支援をしてほしい	回答数	461人	10人
	割合		2.2%
14. 子どもの一時預かりサービスをしてほしい	回答数	461人	93人
	割合		20.2%
15. その他( )	回答数	461人	15人
	割合		3.3%

### 3. 子育てふれあいセンターについての意見

1	出産してからずっと支援センターに通っています。毎回楽しい会を企画してくれていくのが毎日楽しいです。これからもっと通いたいです。
2	5カ月の子でも遊べる場所なのか分からない。
3	玩具を現代のものにしてほしい
4	ミライエへ行く。
5	土日の行事をしてほしい。
6	子育てふれあいセンターに1人で行くのが行きにくい。周りに一緒に行く人がいない。
7	子育てふれあいセンターで体重測定ができた。
8	子育てふれあいセンターにジャングルジムなどの外の遊具がほしい
9	まだ産まれて2か月で、私1人で子どもを連れて、それなりの準備も必要で大変で行くことができない。
10	同年代の子どもが交流できるプログラムが月に数回あればよいと思う。母親対象の育児セミナーを開催してほしい。
11	子育てふれあいセンターにあまり興味がない
12	車がなかったから子育てふれあいセンターに行けなかった。
13	子育てふれあいセンターで子どもが楽しそうだった。
14	加美から八千代は遠いので、旧中幼をふれあいセンターに。園庭もあり、利用しやすい。
15	仕事で疲れていて、休みにまで気を使うことをしたくないと思ってしまう。
16	知育塾等の開設希望。
17	親同士の交流をもっとしたい。
18	施設に行くのが面倒だ。ミライエのような施設ならよい。
19	自然を生かした場を充実してほしい。
20	ダンス等体を動かす施設。開館時間17時までしてほしい(子育てC)。学童は希望者全員入れてほしい。
21	近所の公園に遊具の設置をしてほしい。
22	ミライエのような施設を作してほしい。
23	風邪などの病気をもらわないか心配。子どもを産んでも職場復帰できない。
24	ミライエのような施設を作してほしい。
25	ミライエのような施設を作してほしい。
26	近くに公園を造ってほしい。
27	生活リズムがバラバラである。
28	スケジュール的な問題がある。
29	子どもを連れて仕事に行くので、行く時間がない。
30	気軽に参加できるもの希望。今の施設の場所がよくわからない。